

房総 だより

(農)房総食料センター

千葉県山武郡横芝光町上原 368-1

<http://www.boso.or.jp/>

☆産地情報をお知らせします。

発行：2019年5月10日

石渡君のじゃがいも通信

第2回生命力の強さに任せきり！



2月以降、鹿児島など西日本の新ジャガが出回りはじめると、必ず食し、自らのジャガ芋とどう違うかなどと比べたりします。そして思うのです。今年の栽培は上手く行くだらうか、食味は良いのか、といった事を。そういえば、3月頃買った新ジャガは煮えにくかった…。他人の芋見て我が振り直せ。第2回は植えつけ後、どこまで育ったかをお伝えします。

- 3月後半 植え穴から出芽、今年は気温が高い為、早い展開。気温の乱高下があり遅霜の危険がつきまとう。
- 4月前半 朝、布団から出られない気温。外を見ると草木や建物の屋根に白い物が。予想通り霜が降りる。畑に行くと前日までの緑色の葉が黒みがかかった色になる。葉の組織が壊死、乾燥するとパリパリの枯れ葉になる。
- 4月中頃 霜にやられた葉に代わり新しい芽が出現。気温も高まり雨も多い。1日1日の成長スピードが早い。
- 4月末 高さ40cmくらいにまで丈が伸びる。花芽を見つける。遅霜に痛めつけながらも例年並みの生育。「インカのめざめ」の沢山出た芽を3~4本にまで芽欠き。
- 5月前半 開花始まる。まだ一部ではあるが、紫の花がちらほら。栽培上ではもう少しで折り返し。芋が大きくなり始める。同時に病気の発生が心配。

発芽から開花までに行う作業は芽欠き程度。株元に土を入れたりもしますがあまり構わないです。この時期は、ジャガ芋の生命力に任せれば育てしまうのです。しかし、成育後半、疫病の発生など気をつけるべき事が増えます。私の作業も再開。さて、芋はどうなるのでしょうか？ジャガ芋は掘ってびっくりの玉手箱。次回は、いよいよ収穫作業。果たして笑えるのか？泣くのか？

(山武市 石渡雄悠)